

# 平成29年度 君津東地区 地域ケア会議 報告書



平成29年9月20日(水)、11月21日(火) 君津市保健福祉センターにて、

## 「社会資源の整理」「地域のつながりの希薄化」について

意見交換を行いました。

### 内容

平成29年9月に実施した、1回目の地域ケア会議では、「高齢者に対する集いの場について」と、「社会資源の整理」というテーマで話し合いを行いました。  
すなみほっとサロンの取り組みや、体操教室の参加者に対し、いきいき支援事業として有償ボランティア、「お茶っこクラブ」の取り組みなどを紹介し、参加者を増やすことへの課題について、意見交換を行いました。

2回目の地域ケア会議では、各団体が「社会資源の整理」「地域のつながりの希薄化について」現状を報告し、具体的な取り組みについて話し合いました。

### ご意見

#### ○社会資源の整理について

- ・公的な情報だけでなく、民間サービスの情報が必要。たとえば、配食などの情報が必要ではないか。情報収集を行う必要がある。
- ・すべての相談を受ける機関があり、その機関で相談のふり分けができればよいのではないかと。相談件数に対応できるかわからないので、何か所かの関係機関を枝のようにつけておく必要があるのではないかと。
- ・地区限定と市全体の情報に分けて作成した方がよいのではないかと。

#### ○地域のつながりの希薄化について

- ・周南地区と八重原地区では隣近所の付き合いに温度差がある。また、同じ周南地区でも以前からの居住者と新しく居住してきた地域では相違があり、新しい地区では、近隣の方が誰か、家がどこかもわからないという人もいる。アパートの人の情報はわからないことが多い。
- ・介護保険を利用している人はケアマネジャーや介護保険の事業所で把握ができるが、利用していない人はわからない。地域のつながりが希薄である事から、地域の見守りから外れてしまう人が問題である。

### ご意見

- ・個人情報保護のために、情報共有が出来ず、困ることもある。
- ・地域の見守りを行う上で、効率的な見守りを実施するために、団体間で支援の日程などを調整した方がよいのではないかと。
- ・君津市高齢者見守りネットワーク事業覚書締結事業所の公表を行った方がよい。事業者が継続して協力できるように、表彰等の工夫も検討した方がよいのではないかと。
- ・市内8地区で地域ケア会議が開催されているので、他の地域の様子も知って参考にしたい。
- ・見守りをしていく活動のスキルアップとして、認知症の人が地域で生活していけるように認知症サポーター養成講座を実施していく事も必要。

### まとめ

- 社会資源の一覧は、窓口や、関係機関は1か所のみではなく、いくつか関わることができるように明記し、団体関係者が支援をする際に活用できるようにしていく。
- 見守りを必要としている高齢者を、情報を共有しながら、効率的に見守ることができるような体制づくりを検討していく。

ご意見を参考にさせていただき、平成30年度の地域ケア会議を実施していきたいと思っております。



君津市地域包括支援室  
Tel 0439-56-1732  
君津市久保 2-13-1  
君津市 保健福祉部  
高齢者支援課